

## \*小島剛一氏講演会のご案内\*

『トルコのもう一つの顔』(中公新書)の著者、小島剛一さんが  
ラズ語の辞書の刊行を計画しています。

賛同者を募る講演会を開催しますので、ふるってご参加ください。



名著『トルコのもう一つの顔』には、トルコ共和国で言語を調査している時に会った、ラズ人たちやラズ人たちの言語のことが述べられています。ラズ語を研究されてきた小島剛一さんが、ラズ語の辞書の刊行を計画しています。

辞書の刊行は、絶滅危惧言語を保存するために大切なことであり、言語学にとって、人類にとって重要であることはもちろんですが、何よりラズ語話者にとって、ラズ語を保存し、持続させていくために、ラズ語の辞書が刊行されることは重要な意味を持ちます。そのために、ラズ語トルコ語日本語を対照した辞書の刊行を実現したいと考えます。

辞書刊行については、日本国内においての需要が、大きいとは思われず、商業的な出版は困難です。何らかの支援を求めることが必要です。ラズ語の辞書を刊行することに賛同下さる方に呼びかけ、ご支援によりまして、刊行を目指したいと思っております。

### 小島剛一氏講演会 「ラズ語の魅力と辞書編纂」

- 9月9日(火) 大阪 MARUZEN & ジュンク堂書店梅田店 19:00 ~ (受付 18:30 より)
- 9月10日(水) 東京 アジア文化会館 19:00 ~ (受付 18:30 より) 参加費 1,000 円
- 9月13日(土) 秋田 秋田県生涯学習センター 13:30 ~ (予定)

**概要:** ラズ語は、トルコ共和国北東端とグルジア南西端に主要語域のある被圧迫言語・絶滅危惧言語です。本講演では、様々な興味深い特徴のあるこの言語についての紹介を中心に、ラズ語の辞書編纂の意義について話します。また、七拍子などの独特のリズムで歌い踊る、ラズ音楽をはじめとするラズ文化についても少し紹介したいと思います。

**講演者略歴:** 1946年、秋田県生まれ。1968年以來フランス在住。旅の虫。巣はストラスブールにあるが、年に六ヶ月は羽が生えて地球のどこかを飛び歩いている。言語屋。1973年以來、フランス人向けの日本語教育にも携わっている。1978年、フランスのストラスブール大学人文学部で博士号取得。専攻は、言語学と民族学。1986年9月、トルコ共和国で少数民族言語臨地調査のための「研究調査ビザ」を所持していたにも拘らず国外退去勧告を受ける。その後、四度に亘って空き巣被害を受けるが盗まれたものは何も無し。この時以來、身の安全のため、住所や勤務先などは非公表。2003年7月、『ラズ語文法』刊行の直後、トルコ共和国から武力によって国外退去させられる。現在はフランスで自由業。著書『トルコのもう一つの顔』(中公新書)1991年、『漂流するトルコ 続「トルコのもう一つの顔」』(旅行人)2010年、『再構築した日本語文法』(ひつじ書房)2012年、など。論文 『三省堂言語学大辞典』の「ザザ語」の項(1993年)など。

★お問い合わせ、お申し込みは、お電話かメールでご遠慮なくお問い合わせください。(9:00 から 18:00 まで(通常 19:30 くらいまでは大丈夫です)) ひつじ書房宛にお電話でお問い合わせいただくか(03-5319-4916)、メール(toiawase@hituzi.co.jp)にてお問い合わせください。9月9日(MARUZEN & ジュンク堂書店梅田店開催)については、MARUZEN & ジュンク堂書店ホームページ <[http://www.junkudo.co.jp/mj/store/event\\_detail.php?fair\\_id=6425](http://www.junkudo.co.jp/mj/store/event_detail.php?fair_id=6425)>をご覧ください。

